



伊賀蕉門の重鎮 土芳

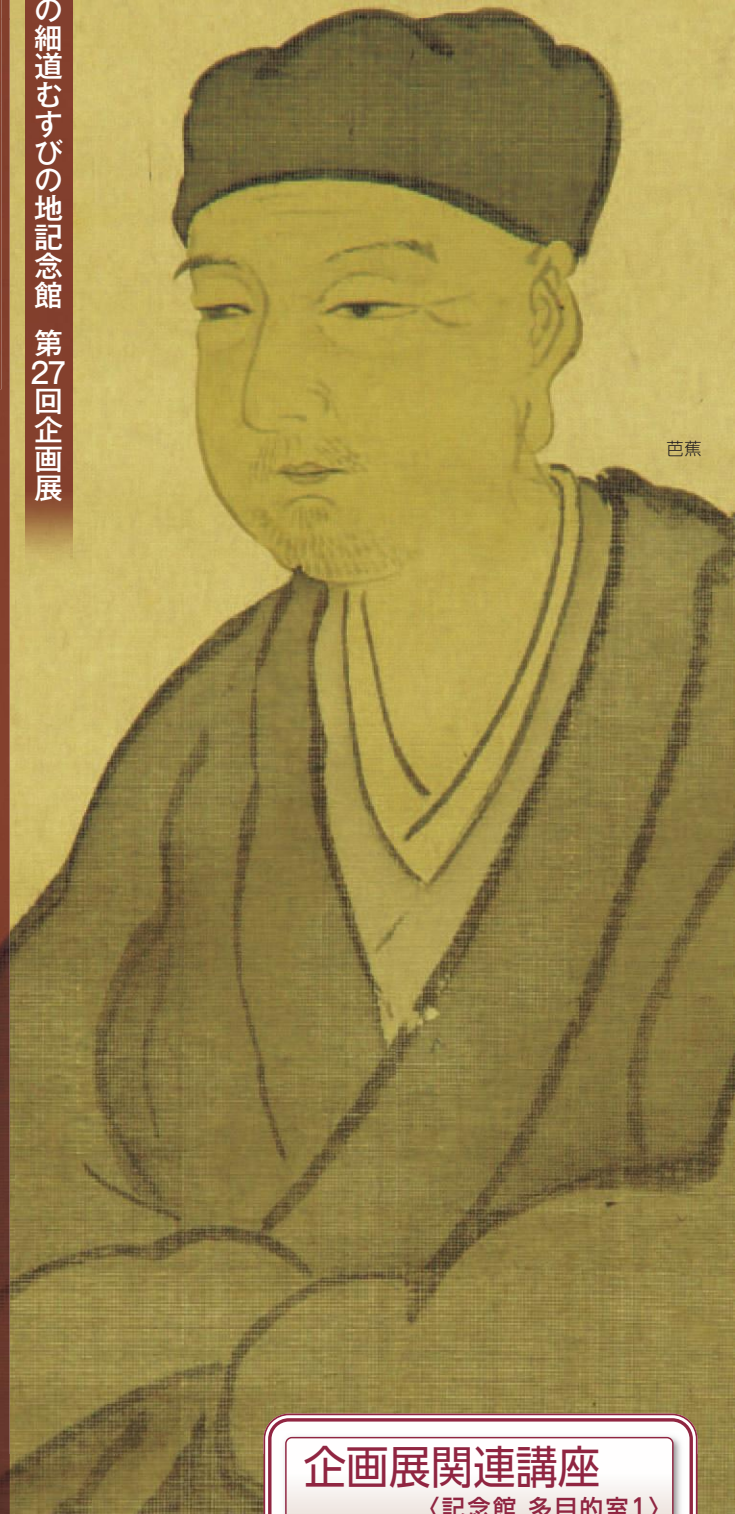


伊賀上野の商人 猿雖

芭蕉と門人①

伊賀の蕉門俳人たち

奥の細道むすびの地記念館 第27回企画展



芭蕉

企画展関連講座

〈記念館 多目的室1〉

ギャラリートーク

(学芸員による企画展示解説)

〈企画展示室〉

10/6(日)・10/13(日)
11/10(日)・11/17(日)
いずれも 15:00～ 30分程度

事前申込み不要 参加費無料

(ただし、入館料は必要)

ふるさと
伊賀における
芭蕉の俳交

11/3(日) 14:00～15:30

講師: 高井 悠子 氏 (芭蕉翁記念館学芸員)

受講料無料

定員80名

要事前申込み
9月2日(月)～

令和元 10/5(土)～11/17(日)

開館時間 9:00～17:00

ところ 大垣市奥の細道むすびの地記念館
1階 企画展示室

大垣市奥の細道むすびの地記念館

〒503-0923 岐阜県大垣市船町2丁目26番地1 TEL 0584-84-8430

主催/大垣市・大垣市教育委員会

問い合わせ先/文化振興課 〒503-0888 岐阜県大垣市丸の内2丁目55番地
TEL 0584-47-8067(直通) FAX 0584-81-0715 <http://www.city.ogaki.lg.jp/>

施設案内

館内施設	芭蕉館/先賢館	観光・交流館
料 金	一般300円 団体150円 (18歳未満は無料)	無料
開館時間	午前9時～午後5時	午前9時～午後9時
休 館 日	無休(ただし、12月29日～1月3日は休館)	



みんなで築こう 人権の世紀
～考えよう 相手の気持ち 未来へつなげよう 違いを認め合おう～

「蕉門俳人」と称される芭蕉の門人たちは

貞享年間（一六八四～八八）以降

江戸以外の各地にも生まれてきます。

それは、芭蕉が新しい俳風を求めて各地を旅したためです。

芭蕉の出身地である伊賀（現・三重県）も

代表的な門人たちが輩出した地の一つです。

芭蕉は、『笈の小文』の旅中や『奥の細道』の旅後など

折に触れて郷里の伊賀に立ち寄り

門人たちとともに俳席を設けて交歓しています。

また、伊賀から離れた地においても

しばしば門人たちに宛てて手紙を送っており

親しく交流していた様子がうかがえます。

第二十七回企画展では、芭蕉と伊賀の門人たちとの交流や

門人たちの俳諧活動について

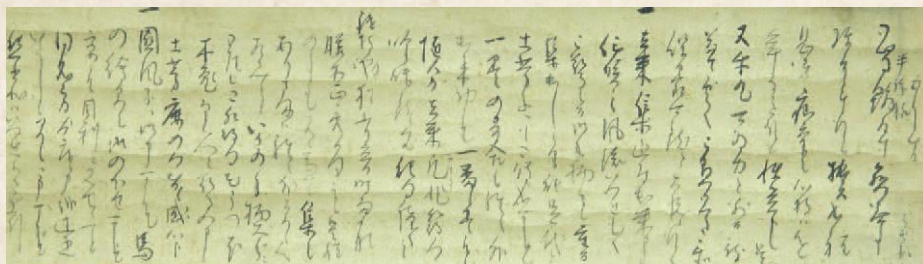
ゆかりの手紙や作品を通じて紹介します。



伊賀上野の雪芝亭を訪れた芭蕉(当館蔵「芭蕉翁絵詞伝」より)

展示品

- ・元禄3年正月5日付式之・槐市宛芭蕉書簡(今治市河野美術館蔵)
- ・元禄4年5月10日付半残宛芭蕉書簡(今治市河野美術館蔵)
- ・元禄4年5月10日付意専宛芭蕉書簡(個人蔵)
- ・元禄7年正月20日付意専宛芭蕉書簡(芭蕉翁顕彰会蔵)
- ・土芳筆「どこ浦の」句文懐紙(芭蕉翁顕彰会蔵)
- ・猿雖筆「荒て」句自画賛(芭蕉翁顕彰会蔵)
- ・配力・土芳・雪芝・車来「肩衣の」歌仙(個人蔵)
- ・土芳筆「ほととぎす」句短冊(柿衛文庫蔵)
- ・元禄13年10月12日付土芳宛風麦書簡(柿衛文庫蔵)
- ・呉耕筆 杉風筆写 芭蕉坐像(当館蔵) ほか



元禄4年5月10日付半残宛芭蕉書簡(今治市河野美術館蔵)

企画展関連講座

日 程	11月3日(日) 14:00~15:30
テ マ	ふるさと伊賀における芭蕉の俳交
講 師	高井 悠子氏 (芭蕉翁記念館学芸員)
場 所	奥の細道むすびの地記念館 多目的室1
定 員	80名
受 講 料	無 料
申込み方法 問い合わせ先	申込用紙に必要事項を記入して、文化振興課へ郵送・持参・FAXまたは 奥の細道むすびの地記念館ホームページ(http://www.basho-ogaki.jp/)より 〒503-0888 岐阜県大垣市丸の内2-55 大垣市教育委員会 文化振興課 TEL 0584-47-8067(直通) FAX 0584-81-0715



※詳細は奥の細道むすびの地記念館ホームページ等でお知らせします。

奥の細道むすびの地記念館 企画展関連講座 ふるさと伊賀における芭蕉の俳交

参加申込用紙

ふりがな

名 前

住 所

-

電話・FAX番号

電話

FAX

※申込書の個人情報は、適切に管理し、本事業以外の目的には一切使用しません。
申込み受付の確認については連絡しません。当日、会場にお越しください。



FAX

0584-81-0715